

愛知県清洲貝殻山貝塚資料館

拡充整備基本構想

<概要版>



平成 28 年 3 月

愛知県教育委員会

I 計画の背景

1 朝日遺跡の特徴

<東海地方最大の弥生集落・東西文化の結節点・巨大環濠都市>

朝日遺跡の範囲は東西約 1.4km・南北約 0.8km、推定 80 万㎡にも及び、東海地方を代表するとともに、全国的にも最大規模の弥生時代の環濠集落として知られています。



上空から見た朝日遺跡

<朝日遺跡のオンリーワン>

- 逆茂木・乱杭 (日本初の多重防御施設の発見)
- 日本最古のヤナ
- 円窓付土器の大量出土
- パレススタイル土器
- 弥生時代最大規模の貝塚
- 骨角器の種類・量は弥生時代として日本一
- 食の博物館 (稲・魚貝・イノシシ・シカ等)



逆茂木・乱杭



● 円窓付土器

出土品の 2,028 点が、国の重要文化財に指定

調査研究の進展により、朝日遺跡の価値があらためて評価されています。平成 24 年 9 月に出土品 2,028 点が重要文化財に指定され、朝日遺跡の整備活用を求める機運が高まっています。

2 貝殻山貝塚資料館の現況・沿革

現在の貝殻山貝塚資料館は、ハード面の制約による情報発信力の不足、来訪者に提供するプログラムやサービスなど活動 (ソフト) の不足が課題となっています。

昭和 4 (1929) 年 : 貝殻山貝塚の発掘調査着手

昭和 46 (1971) 年 : 貝殻山貝塚を含む約 1ha が国史跡に指定

昭和 50 (1975) 年 : 愛知県清洲貝殻山貝塚資料館が開館

RC 1 階平家建て

建物面積	479.79 ㎡
展示室	191.40 ㎡
収蔵庫	125.51 ㎡
管理室	31.12 ㎡ 他



II 施設拡充整備の目的・基本方針

1 施設拡充整備の目的

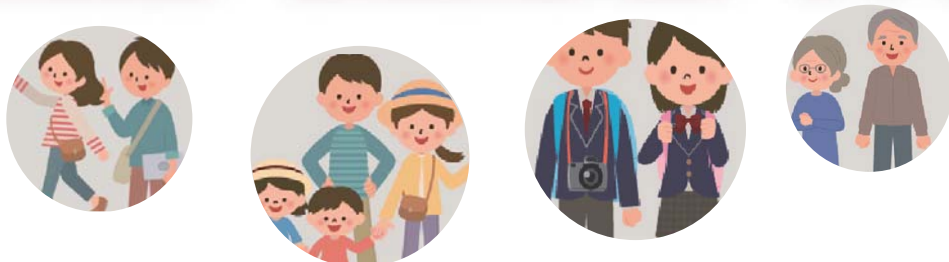
東海地方最大の弥生集落である「朝日遺跡」の発掘調査によってもたらされた出土資料を収蔵・保管し、朝日遺跡と弥生時代の調査研究、展示教育普及等の事業を実施し、多くの県民が歴史文化に関心を寄せる場を提供することを目的とします。

2 新資料館の基本方針

(1) コンセプト

新資料館は、多くの県民が歴史に親しみ、貴重な歴史資産を知り、守り、地域の未来を育む場とします。

歴史に親しみ、未来を育む 朝日遺跡・弥生体感ミュージアム

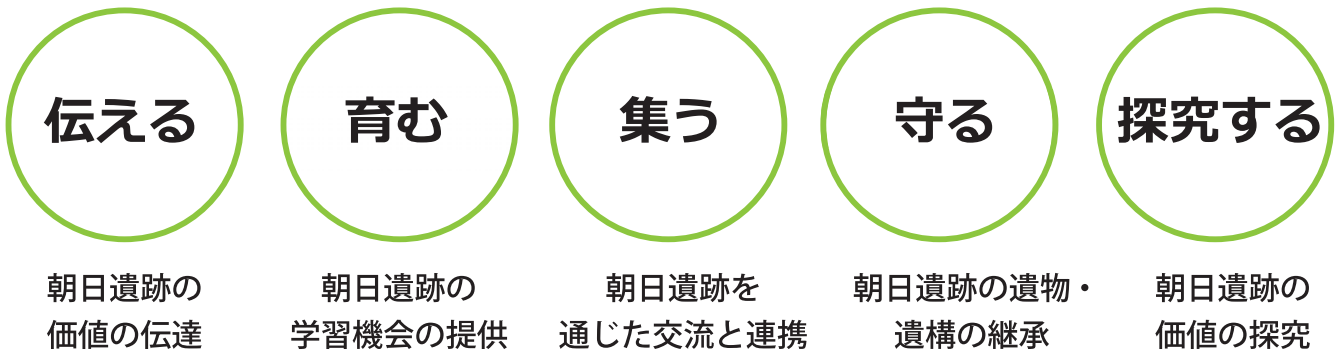


(2) 基本方針

- ① 県民の貴重な共有財産を保管し、広く公開する資料館
- ② 朝日遺跡の価値を県民にアピールし、歴史への関心を高める資料館
- ③ 史跡と一体となって活動する資料館
- ④ 朝日遺跡を中心に、情報を集積し、発信する資料館
- ⑤ 地域と連携して活動する資料館

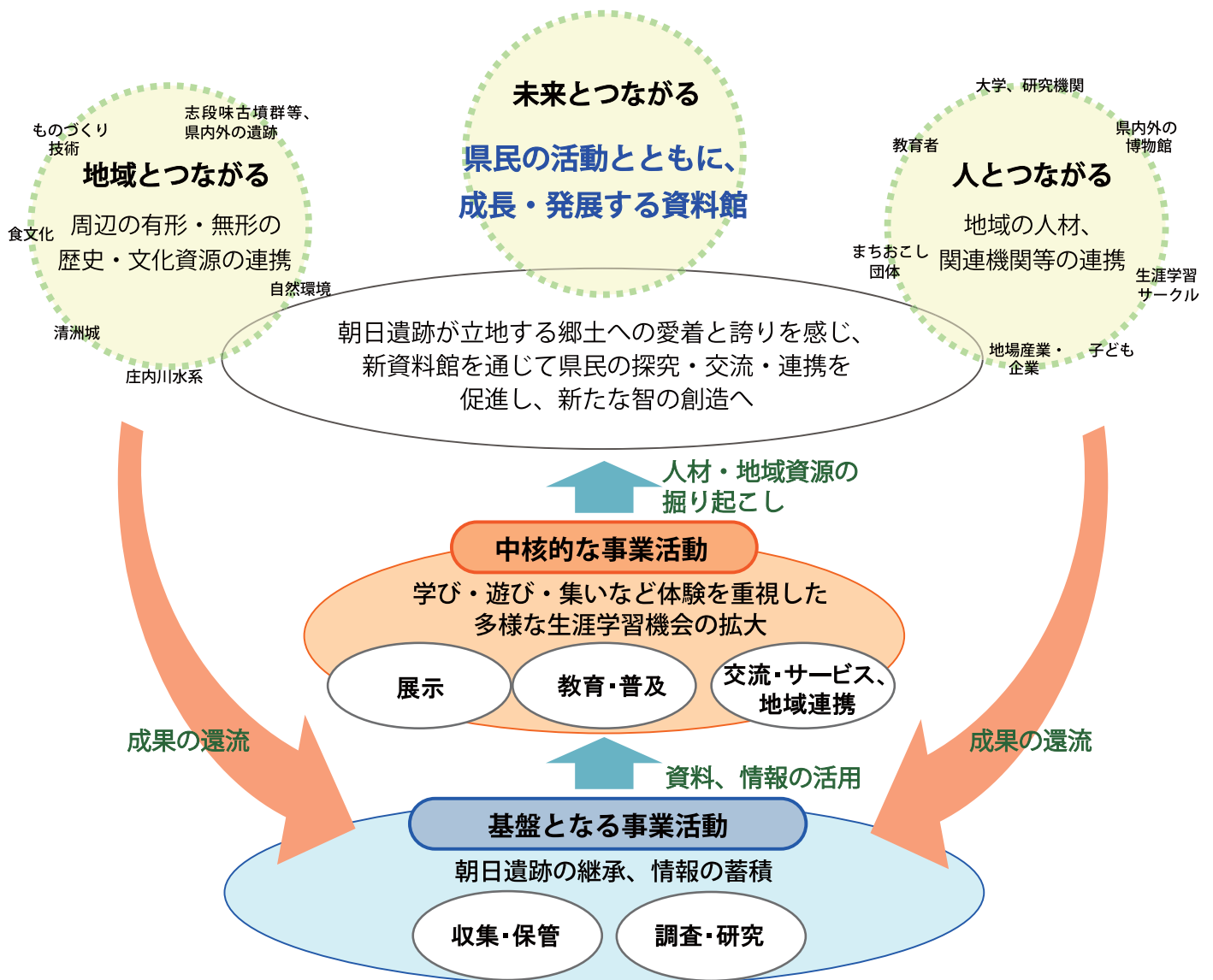
III 新資料館の役割と活動方針

1 新資料館の役割



2 新資料館の活動方針

「歴史に親しみ、未来を育む朝日遺跡・弥生体感ミュージアム」を実現する事業活動を展開します。



IV 敷地利用計画

1 敷地利用の概念

新資料館は、史跡貝殻山貝塚南側に隣接する用地 (5,547 m²) に整備します。史跡地の整備は文化財保護法にもとづく現状変更の手続きが必要であり、史跡の保存管理に配慮した敷地利用計画とします。

- (1) 史跡と新資料館用地は一体的に活用します。
- (2) 新資料館を中心に、屋外で弥生時代の環境再現展示を行うとともに、弥生時代の暮らし等を体験できるプログラムの場を設けます。
- (3) 史跡指定地は、景観を整えるとともに、多目的に利用できる広場を設けます。
- (4) 現資料館は出土品の収蔵等の機能に活用します。

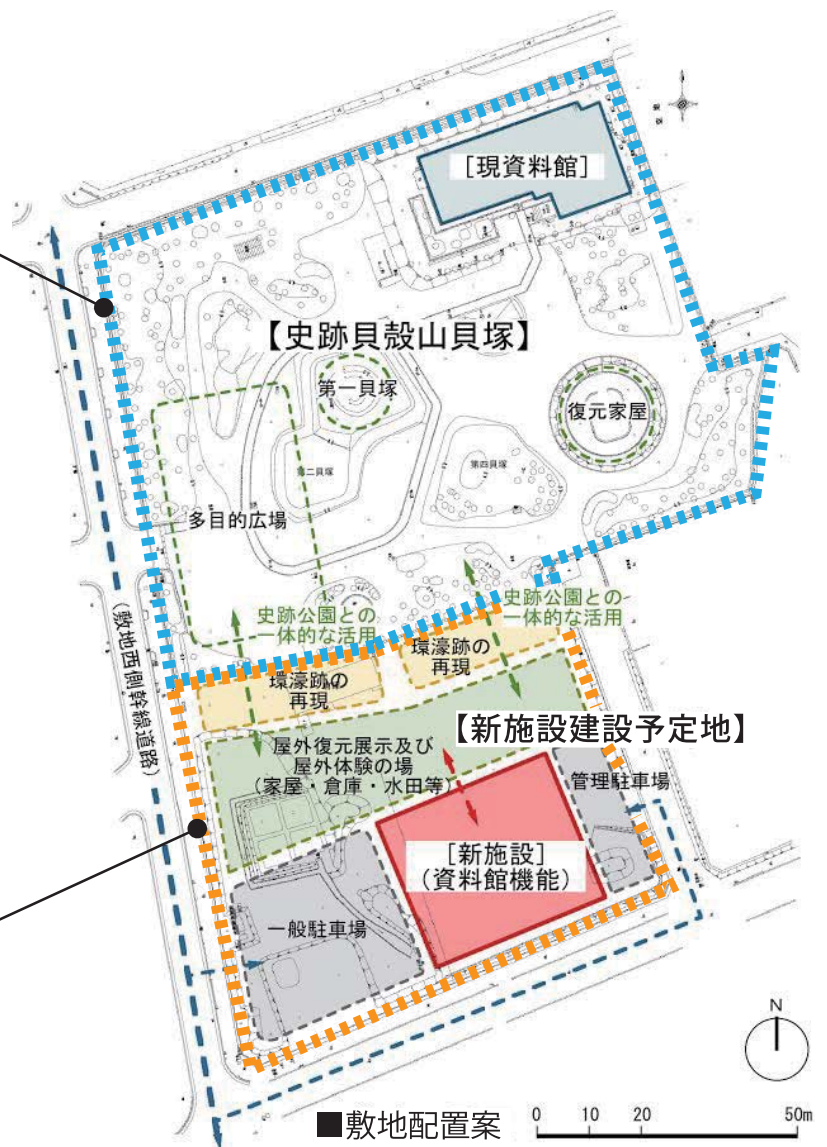
2 配置計画

<史跡貝殻山貝塚>

- ① 地下の遺構・遺物等、史跡の本質的価値を構成する要素を保存します。
- ② 史跡や現存する遺構の解説等、わかりやすい整備を行います。
- ③ 現資料館を活用するとともに、屋外トイレ、パーゴラ等、既存施設の見直しを図ります。
- ④ 弥生時代に利用されてきた樹種を保全する等、樹木・植栽の管理を行います。

<新施設建設予定地>

- ① 朝日遺跡出土品を保管・展示するとともに、朝日遺跡に関する情報発信、学習のための拠点的な施設を整備します。
- ② 施設来訪者のために必要な駐車場を整備します。
- ③ 新資料館と史跡との間に、竪穴住居・倉庫・水田等の施設を再現し、屋外展示とするとともに、体験学習等の場として活用します。



配置案は検討中であり、計画の進捗に伴い、今後変更することがあります。

V 事業の概要

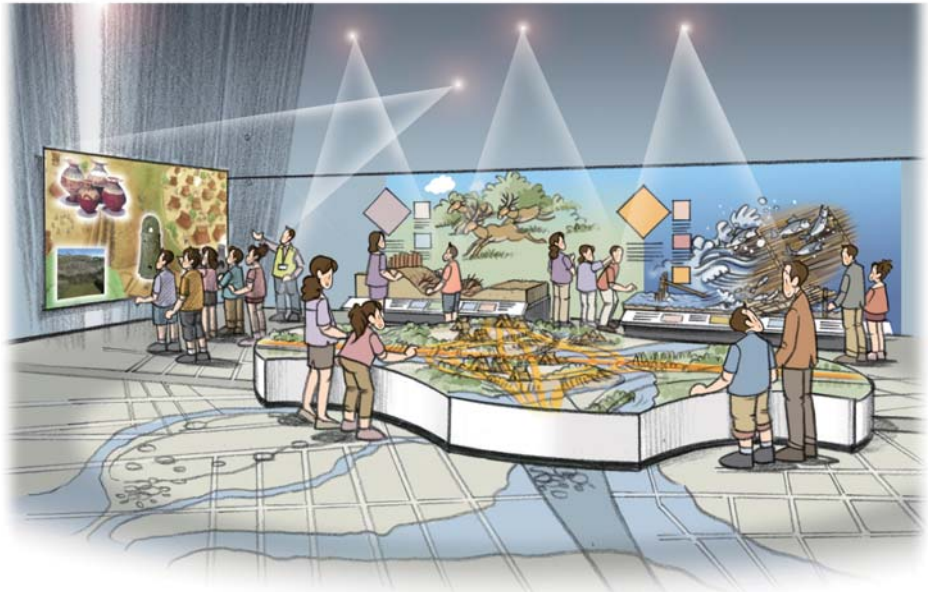
1 展示

資料の鑑賞・体験を通じて、先人の暮らし、ものづくりの技術や工夫など、資料がもつ意味や情報を明らかにし、弥生時代の人々の生き抜く知恵が現代の人々にも受け継がれていることを伝え、来訪者を弥生時代へと誘います。

展示は目的に応じて、基本展示、体験展示、企画展示、屋外展示、収蔵展示から構成します。

基本展示

- 興味・関心を高める「プロローグ展示」
- 朝日遺跡の全体像がわかる「ガイダンス展示」
- 朝日遺跡の特徴を打ち出す「テーマ展示」



<ガイダンス展示イメージ>

体験展示

- 遺構体験 「防御施設の大きさ体感」
- 道具体験 「弥生時代の道具を使ってみよう」
- ものづくり体験 「弥生時代のものづくり」
- 装い体験 「なりきり弥生人」



<体験展示イメージ>

企画展示

- 朝日遺跡、弥生時代に関する最新の研究成果の発表
- 愛知県で行われた発掘調査成果の展示
- 地域の歴史文化に関する展示 等



屋外展示

- 当時の住居や水田などの生活空間を再現した屋外空間で本格的な体験を提供する「体験弥生ムラ」
- 国指定史跡として保存されている貝殻山貝塚にふれる「史跡貝殻山貝塚」



<屋外展示イメージ>

収蔵展示

- 現資料館を活用した収蔵展示により、朝日遺跡の豊富な出土品を知り、また、土器等の出土品へのハンズオン体験を提供

2 教育・普及

朝日遺跡を軸に、考古学や郷土の歴史文化に興味を持つきっかけを作り、幅広い県民の生涯学習を支援し、歴史を解き明かす楽しみ、知的満足感を提供します。



・火おこし体験



・住居づくり体験

・1年間の農作業体験（田植え、稲刈り、脱穀）

3 交流・サービス、地域連携

資料館と人々、地域をつなげ、また他の博物館等ともつながる交流活動を実施します。

多くの方が資料館を楽しめる催事、他館等との学術的交流、サービス、情報発信等の活動を展開します。



<交流促進活動イメージ>



・清洲城と連携した歴史ツアーガイド等

4 調査・研究

朝日遺跡の調査・研究を通じて、愛知県の特徴ある地域文化の形成過程を明らかにします。

5 収集・保管

朝日遺跡から出土した資料を体系的に収集し、適切な環境下で保管します。



愛知県教育委員会

生涯学習課文化財保護室

〒460-8534 愛知県名古屋市中区三の丸三丁目1番2号

電話 052-954-6782

FAX 052-954-6962